別紙様式第３号（第８条第１項関係）

施設園芸等燃料価格高騰対策実施状況報告書（令和○事業年度）

番　　　号

年　月　日

和歌山県燃油価格高騰緊急対策協議会会長　殿

（農業者組織）

住　　　　　　　　　　　　所

名称及び代表者の氏名

施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成２５年６月５日付け和歌山県燃油価格高騰緊急対策協議会作成）第８条第１項の規定により別添のとおり報告する。

【令和○事業年度報告用】

（別添）

施設園芸等燃料価格高騰対策実施状況報告書（令和○事業年度）

|  |
| --- |
| 策定主体名： |

第１　施設園芸セーフティネット構築事業実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 対象期間 | 　　　　　 月～　月 |
| ○事業年度 | 令和○年７月～令和○年６月 |

（セーフティネット加入構成員の内訳）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 氏名 | 燃料購入設定数量 | 燃料補填金積立額(円)※ | ○年度補填金支払額(円) | 備考 |
|  | うち補助金 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |  |  |

（注）※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出（農家積立分）。

（注）件数が多い場合等は、本表を別葉とする。

（注）番号は、事業実施計画と同じ番号を用いること。

第２　省エネルギーに関する目標の達成状況（毎年度報告）

１　省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度：令和○事業年度（目標年度：○○事業年度）

（10a当たり燃料使用量を削減する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）使用量 | 削減量③＝①－② | 削減率④＝③／①×100 |
| 現在① | 目標② |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | KL | KL | ％ |
| ＬＰガス | KG | KG | KG | ％ |
| ＬＮＧ | ㎥ | ㎥ | ㎥ | ％ |
| 合計（Ａ重油換算） | KL | KL | KL | ％ |
| 10a当たり | KL | KL | KL | ％ |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（１）10a当たり燃料使用量を削減する目標から転記する。

　（単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）使用量 | 削減量③＝①－② | 削減率④＝③／①×100 |
| 現在① | 目標② |
| 生産量（品目名：　　　　　　） | ｔ | ｔ |  | ％ |
| １ｔ当たりの燃料使用量 | KL | KL | KL | ％ |
| KG | KG | KG | ％ |
| ㎥ | ㎥ | ㎥ | ％ |
| 合計（Ａ重油換算） | KL | KL | KL | ％ |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（２）単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標から転記する。

（注）重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

（民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）使用量：現在① | 年間（加温期間）抑制量：目標② | 抑制率③＝②／①×100 |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | ＫＬ | ＫＬ | ％ |
| ＬＰガス | KG | KG | ％ |
| ＬＮＧ | ㎥ | ㎥ | ％ |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（３）民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標から転記する。

（２）達成状況

（10a当たり燃料使用量を削減）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）使用量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | ％ |
| 10a当たり | KL | ％ |
| ＬＰガス | KG | ％ |
| ＬＮＧ | ㎥ | ％ |
| 合計（Ａ重油換算） | KL | ％ |
| 10a当たり | ＫＬ | ％ |

（注）「年間（加温期間）使用量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における使用量実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

（注）燃料使用量実績の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(㎥)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量（L）に換算したもの（換算方法について、以下同様）とA重油使用量の合計を記載する。

なお、それぞれの数値については小数点以下第１位を四捨五入する。

（単位生産量当たり燃料使用量を削減）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）生産量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| 生産量（品目名：　　　　　　　） | ｔ |  |
| １ｔ当たりの燃料使用量 | KL | ％ |
| KG | ％ |
| ㎥ | ％ |
| 合計（Ａ重油換算） | KL | ％ |

（注）「年間（加温期間）生産量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における生産量実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

（注）燃料使用量実績の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(㎥)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量（L）に換算したもの（換算方法について、以下同様）とA重油使用量の合計を記載する。

なお、それぞれの数値については小数点以下第１位を四捨五入する。

（注）重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

（注）支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位３品目（又は作付け戸数で全体の７割に達するまでの品目）について、枠を追加して記載。

（民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃料の種類 | 年間（加温期間）抑制量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | ％ |
| ＬＰガス | KG | ％ |
| ＬＮＧ | ㎥ | ％ |

（注）「年間（加温期間）抑制量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における抑制実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

２　目標未達成の場合、達成に向けた取組の方向性

|  |
| --- |
| 　　 |